

第103期 報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

証券コード：5953

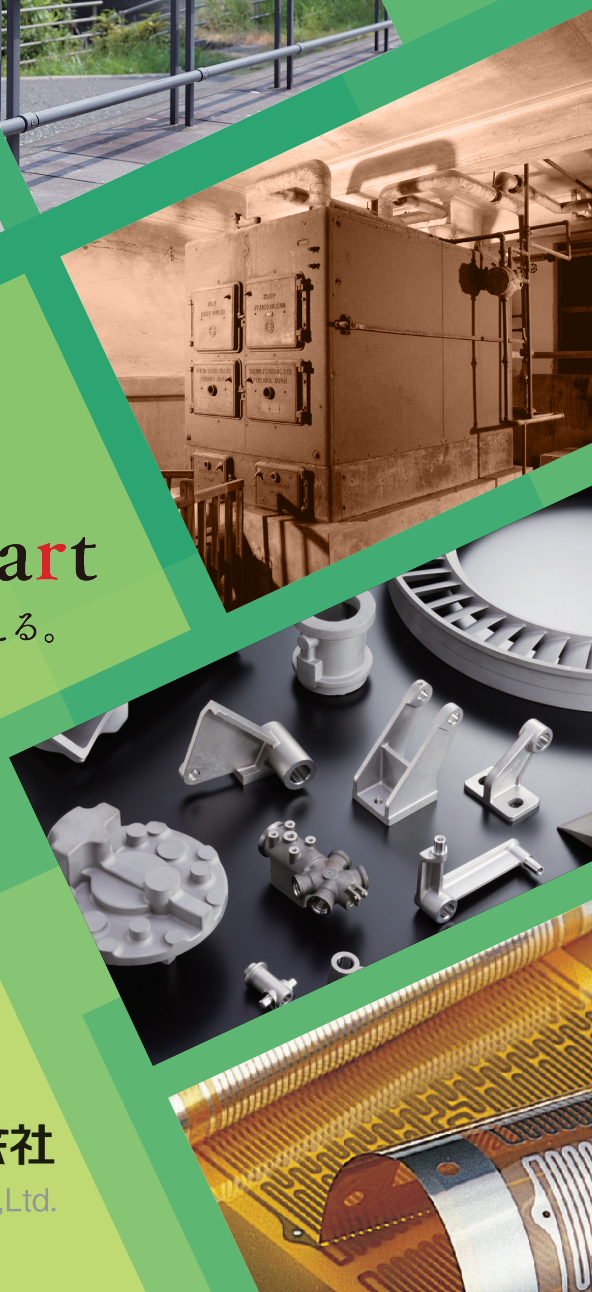


Heat in Heart

情熱で拓く。誠実で応える。



 昭和鉄工株式会社
Showa Manufacturing Co., Ltd.





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2025年3月31日をもちまして、第103期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長 日野宏昭

中期経営計画「人財戦略・事業一翼を担おう！」のもと、直面

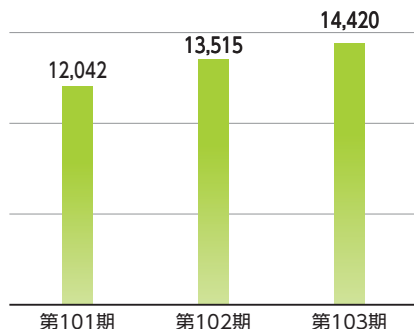
Q 第103期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善等に支えられ緩やかな回復の動きが見られる一方で、物価高や不安定な為替相場等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう！」の2年目の年として、当初策定した数値目標以上の達成を目指し、重点課題

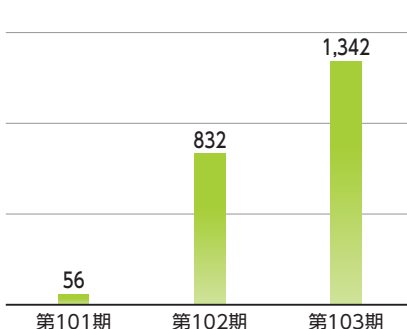
売上高

(単位：百万円)



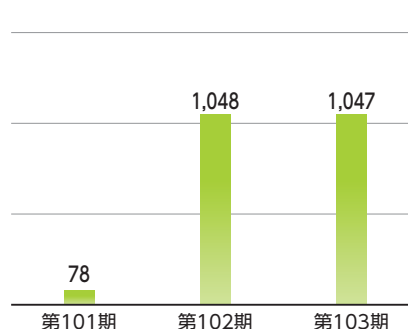
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



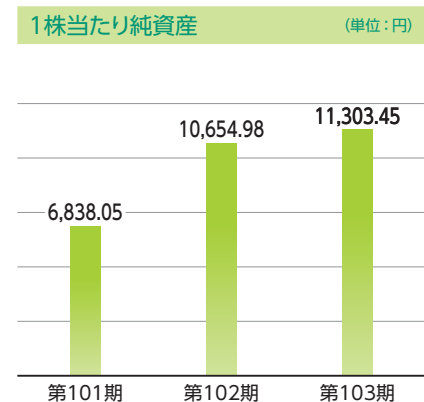
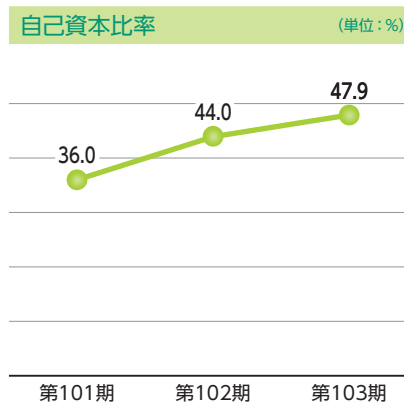
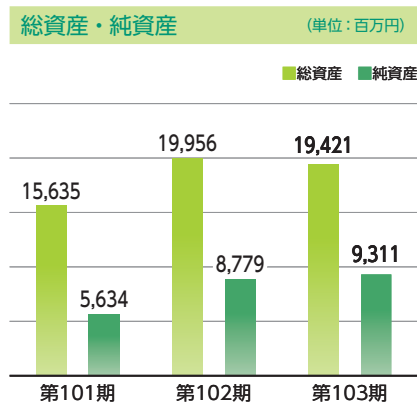
戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への する社會や環境の様々な課題に尽力してまいります。

である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。

損益面では売上高の増加に加えて、原材料価格の高止まり等に対応した適正な売価の設定や製造工程の見直しによる原価低減等により、経常利益は13億4千2百万円(前連結会計年度比61.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億4千7百万円(同比0.1%減)となりました。

Q 第103期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は144億2千万円(前連結会計年度比6.7%増)、受注高につきましては143億2千3百万円(同比2.7%増)となりました。



Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器の売上が旺盛な建設需要を背景に好調に推移しました。また、サーモデバイス機器は海外向け一部案件の次年度出荷等が影響し、売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は75億1千9百万円(前連結会計年度比2.4%増)、受注高は75億5千4百万円(同比3.3%増)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品の売上が主要顧客の在庫調整により低調に推移した一方で、景観製品は特に高欄を中心に売上が堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は22億7千1百万円(前連結会計年度比0.7%増)、受注高は24億5千5百万円(同比8.3%増)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、空調設備・給排水衛生設備工事が更新需要を背景に売上が伸長しました。

その結果、当事業の売上高は46億3千万円(前連結会計年度比18.2%増)、受注高は43億1千2百万円(同比1.1%減)となりました。

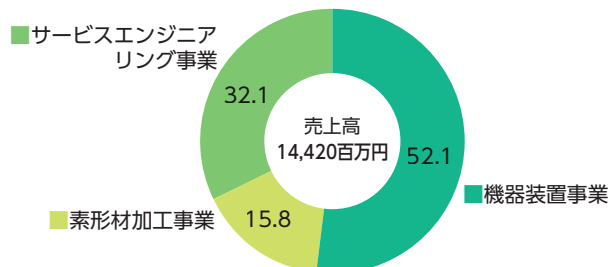
セグメント別の売上高・受注高

(単位：百万円)

	売上高	受注高
■ 機器装置事業	7,519	7,554
■ 素形材加工事業	2,271	2,455
■ サービスエンジニアリング事業	4,630	4,312
合計	14,420	14,323

セグメント別の売上高構成比

(単位：%)



**Q 今後の見通しをお聞かせください。**

今後の見通しにつきましては、わが国経済は引き続き堅調な設備投資やインバウンド需要等を背景に回復基調の持続が期待される一方で、米国の関税政策に伴う貿易摩擦の激化や世界情勢の変化による景気の下振れリスクも懸念され、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

2025年度は、中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう！」の最終年度として、引き続き重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成

(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に尽力してまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第103期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき普通配当50円に特別配当70円を加えた120円とさせていただきます。

Q 最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全社共通の価値観であるミッション・ビジョン・バリューを実践強化し、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

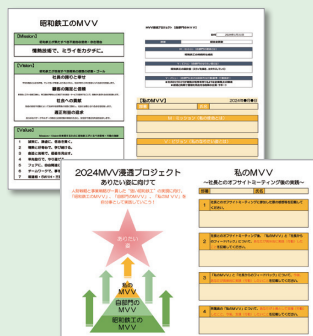


中期経営計画の進捗状況について

当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画『人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!』のもと、当社グループが新たな成長トレンドに向かうべく、これまで当社の長い歴史を支えてきたモノづくりへの想いと熟技術の探求へ原点回帰する一方で、直面する社会や環境の様々な課題に取り組み、持続的に成長する共存共栄の世界実現の一翼を担えるよう、重点課題に注力しています。

●取組事例1 MVV浸透プロジェクト

当社の社是である「誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする」を根幹に全社共通の価値観として再構築したミッション・ビジョン・バリュー (MVV) の浸透を図るため、役員を含む全社員が当社や各部門のMVVを踏まえた「私のMVV」を作成のうえ、代表取締役社長とのオフサイトミーティング(計67回)に臨み、MVVに関する意見交換等を実施しました。



●取組事例2 健康経営

当社では、社員の健康増進や生産性・企業価値向上を目的とした健康経営に取り組んでおり、2024年度は健康管理用ウェアラブル端末の配布や新たな福利厚生サービスの導入を行いました。こうした取組みが評価され、「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」の認定を受けました。



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

重点課題

【リバイバルSHOWA】

人財戦略と事業戦略が一貫した”強い昭和鉄工”の実現

- ①事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営) ②組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)

【サバイバルSHOWA】

強い昭和鉄工が一翼を担う”持続的会社”の実現

- ①ライフサイクル型事業の推進 ②サステナブル新商品の創出



●取組事例3 FA推進(新設備導入・更新)

宇美工場に複合加工機や板金加工設備、古賀工場に三次元測定機や砂型鑄造設備を導入・更新しました。
新設備の導入や更新により、工数低減や業務属人化を解消し、作業の安全性向上や働き方改革にも繋げています。



複合加工機



板金加工設備



三次元測定機

●取組事例4 省エネリファイン開始

リファインには「洗練して」「改善して」「削減して」「調整して」現状をより良くする、という意味合いがあり、当サービスはリファインサイクルの定期的な実施によって、常に機器の最適化を図りながら、施設の持続的な省エネ運用を支援します。

当社では、省エネ改善に精通したサービスマンを「リファイナー」と位置づけ、専門教育や独自の認定制度を充実させ、継続的な技術力の向上を図っています。



連結貸借対照表

科目	当期 2025年3月31日現在	前期 2024年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	9,995	10,033
現金及び預金	3,383	3,243
受取手形	178	357
電子記録債権	1,646	1,721
売掛金	2,465	2,240
契約資産	118	317
商品及び製品	298	272
仕掛品	1,223	1,265
原材料	655	589
その他	28	28
貸倒引当金	△4	△4
固定資産	9,426	9,922
有形固定資産	3,777	3,528
建物及び構築物	940	955
機械装置及び運搬具	943	734
土地	1,584	1,584
リース資産	214	208
その他	94	46
無形固定資産	88	74
投資その他の資産	5,560	6,319
投資有価証券	5,215	6,124
繰延税金資産	2	3
その他	356	207
貸倒引当金	△14	△15
① 資産合計	19,421	19,956

① 総資産

前期末に比べ5億3千4百万円減少し、194億2千1百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1億3千9百万円、売掛金2億2千4百万円が増加した一方で、投資有価証券9億8百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ10億6千7百万円減少し、101億9百万円となりました。主な要因は、電子記録債務5億3千1百万円、退職給付に係る負債2億6百万円が減少したものです。

科目	当期 2025年3月31日現在	前期 2024年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	7,553	8,015
支払手形及び買掛金	887	796
電子記録債務	1,556	2,087
短期借入金	3,250	3,150
未払費用	688	726
未払法人税等	170	270
設備関係支払手形	270	105
契約負債	27	10
リース債務	45	42
その他	656	826
固定負債	2,556	3,161
長期借入金	25	225
長期預り保証金	313	312
退職給付に係る負債	1,181	1,388
繰延税金負債	925	1,108
リース債務	110	127
② 負債合計	10,109	11,177
(純資産の部)		
株主資本	6,304	5,372
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226
利益剰余金	3,568	2,636
自己株式	△131	△130
その他の包括利益累計額	3,007	3,406
その他有価証券評価差額金	2,755	3,380
退職給付に係る調整累計額	251	25
③ 純資産合計	9,311	8,779
負債及び純資産合計	19,421	19,956

③ 純資産

前期末に比べ5億3千2百万円増加し、93億1千1百万円となりました。主な要因は、利益剰余金9億3千2百万円が増加した一方で、その他有価証券評価差額金6億2千4百万円が減少したものです。

連結損益計算書

	科目	当期 自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日	前期 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
④	売上高	14,420	13,515
	売上原価	10,383	10,209
	売上総利益	4,036	3,305
	販売費及び一般管理費	2,830	2,643
⑤	営業利益	1,205	662
	営業外収益	194	218
	営業外費用	58	48
⑤	経常利益	1,342	832
	特別利益	—	325
	税金等調整前当期純利益	1,342	1,157
	法人税、住民税及び事業税	290	272
	法人税等調整額	3	△163
	当期純利益	1,047	1,048
⑤	親会社株主に帰属する当期純利益	1,047	1,048

連結キャッシュ・フロー計算書

	科目	当期 自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日	前期 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
⑥	営業活動によるキャッシュ・フロー	889	797
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△489	281
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△260	△186
	現金及び現金同等物の増減額	139	892
	現金及び現金同等物の期首残高	3,243	2,351
	現金及び現金同等物の期末残高	3,383	3,243

④ 売上高

2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!」の2年目の年として、当初策定した数値目標以上の達成を目指し、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。その結果、当期における当社グループの売上高は144億2千万円(前年同期比6.7%増)となりました。

⑤ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の増加に加えて、原材料価格の高止まり等に対応した適正な売価の設定や製造工程の見直しによる原価低減等により、営業利益は12億5百万円(前年同期比82.1%増)、経常利益は13億4千2百万円(前年同期比61.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億4千7百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は8億8千9百万円(前年同期は7億9千7百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益13億4千2百万円による増加と、仕入債務の減少額4億3千9百万円による減少です。

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	1883年10月2日
設立	1933年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	380名 (連結384名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負
主な事業所	
東京支社	神奈川県川崎市川崎区中島二丁目2番7号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(北海道石狩市)
支店	東北(北海道石狩市)、東京(川崎市)、大阪、九州(福岡県糟屋郡)
営業所	札幌(北海道石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、広島、下関、南九州(熊本市)
関係会社	昭和トータルサービス株式会社

役員

(2025年6月25日現在)

取締役・監査役

代表取締役	日野 宏昭
取締役	尾島 孝則
取締役	執行 貴洋
取締役	上野 俊幸
取締役	佐藤 仁俊
常勤監査役	大島 正信
監査役	横田 浩二
監査役	本田 隆茂

執行役員

社長CEO	日野 宏昭
常務執行役員	尾島 孝則
上級執行役員	執行 貴洋
執行役員	名和 正之
執行役員	森 克郎
執行役員	都地 美生隆
執行役員	井上 晋輔

株式の状況

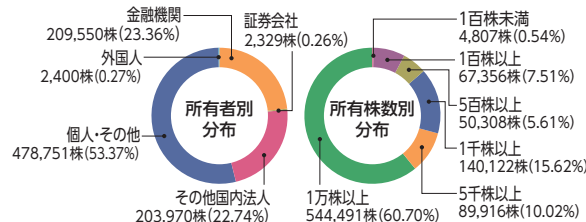
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主総数	790名

大株主

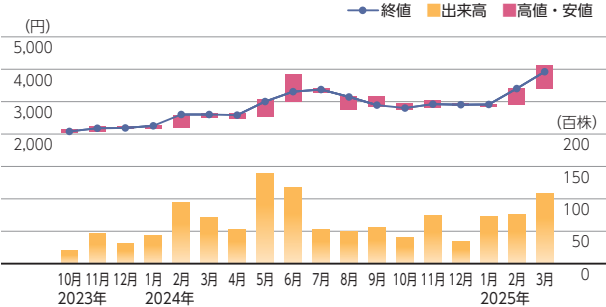
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.69
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.67
株式会社北九州銀行	35,750	4.33
西部ガスホールディングス株式会社	34,500	4.18
西日本鉄道株式会社	29,100	3.53
飯田久泰	26,700	3.24
飯田卓子	24,761	3.00
飯田吉宣	22,288	2.70
渡邊秀一郎	22,200	2.69
稲田好美	19,813	2.40

(注) 持株比率は、自己株式(73,192株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 https://www.showa.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株

株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増
等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

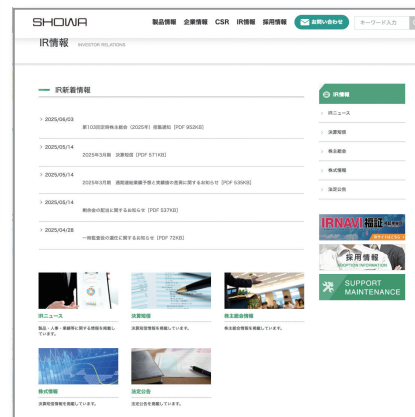
ホームページのご案内

<https://www.showa.co.jp/>

●トップ画面



●IR情報トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。



〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
TEL 092-933-6390 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。